

京都「被爆二世・三世の会」『健康調査アンケート結果』から

## 苦しみ、悩み、闘い、生きようとしてきた 被爆二世たちを見て下さい

京都「被爆二世・三世の会」は2020年～2023年、「被爆二世・三世の健康調査アンケート」を行い、102人の二世から回答が寄せられました。

そこで明らかになった被爆二世の姿は —いのち、からだ、健康への影響—

### ① 多くの被爆二世が幼い頃から共通した健康障害

- 虚弱、疲れやすい、風邪をひくといつまでも長引く、けがをすると傷口が治りにくく、鼻血、貧血、嘔吐、乗り物酔い等々。
- 体育の授業はいつも見学、プールにも入れず、奪われた少年時代の輝き。

### ② 不定愁訴で深刻な体調不良

疲れやすく深刻な体調不良だが原因不明。診断は確定せず、適切な治療方法がなく、仕事でも日常生活でも様々な困難に見舞われる。

### ③ 被爆者に多い病気に二世も罹患

白血病、がん、糖尿病、甲状腺機能低下症、脳血管障害、心筋梗塞、白内障など高い発症率。

### ④ 多岐にわたる被爆二世の健康障害

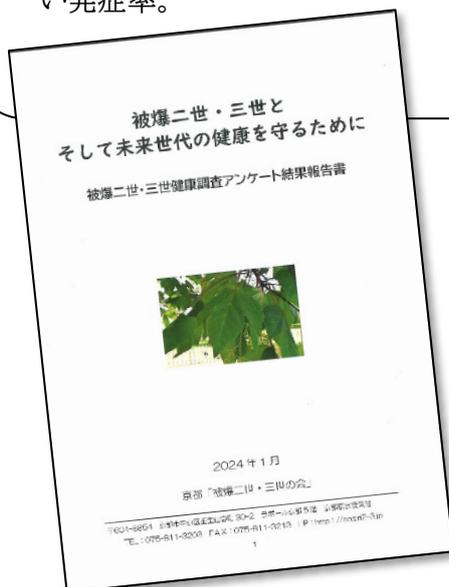
骨折、関節痛、消化器機能障害、歯の異常と障害、目の病気等々等々、健康障害は多岐に。  
「体が動かなくなる」症例も。

### ⑤ この世の光を受けることのできなかった二世たち

- 「私には本当は兄がいた、姉がいた、弟、妹がいた。でも生まれてすぐに、あるいは生まれるまでもなく、この世の光を受けることなく亡くなった」回答者は10人。自ら(或いは伴侶)が流産した経験者は9人。
- 放射線被ばくの世代を超えた影響の真実に迫っていく上で重要な追究課題。

### ⑥ 31.3%の人は健康な半生

3割強の二世はこれまで、大きな病気、健康障害を経験せず健康に過ごすことができてきた。



「アンケートに答えるのが辛い」、「過去のトラウマが蘇ってくる」など、被爆二世が過去との葛藤を乗り越えて回答してきたアンケートです。右の QR コードから無料でダウンロードできます。

引き続き多くの二世・三世のみなさんが、自らの健康履歴を見つめ直し、放射線の世代を超えた影響の真実に迫っていくことを願います。

